



## 追記履歴

Version	日付	内容
1.13	March 27, 2024	<ul style="list-style-type: none"><li>- オーディオ設定に説明を追加</li><li>- IPおよびRS232インターフェースに不足していたコマンドを追加。</li></ul>

## 製品の特長

- ドライバーインストール不要
- UVC準拠、MJPEGおよびH264対応のUSB 2.0カメラキャプチャ
- HDMI入力映像のキャプチャに対応
- ピクチャー・イン・ピクチャー（PIP）表示モード
- ビデオストリーミングやビデオ会議に最適
- スケーリングおよび色空間変換機能
- オーディオミキシング機能
- DirectShow、AVFoundation、V4L2対応
- 外部電源駆動、電源アダプタ付属
- Windows、macOS、Linuxに対応
- プロ仕様のフルメタル筐体

## 概要

INOGENI SHARE2Uコンバーターは、録画、ビデオ会議、講義キャプチャ、ストリーミング用途において、2つのビデオソースを1つのUSBストリームとして同時にキャプチャし、ミックスできる、簡単かつ信頼性の高いツールです。

ドライバーのインストールは不要で、すべてのマザーボードおよびUSB 3.0チップセットと互換性があります。

本製品は以下の入出力端子を備えています

- USB 2.0 Type-Aポート（UVC準拠カメラキャプチャ用）x2
- HDMI Inポート x1
- HDMI Outポート x1
- ステレオアナログジャック x1
- ステレオアナログジャック x1
- LANポート x1
- RS-232ポート x1
- USB 3.0 Type-Aエクステンションポート（拡張用）x2
- USB 3.0 Type-Bポート（ホストPC接続用）x1

INOGENI SHARE2Uコンバーターは、HDTVおよび一般的なコンピューターグラフィックフォーマットに対応しています。コンパクトで頑丈な設計の本製品は、実用的かつ使いやすいUSB 3.0キャプチャソリューションです。

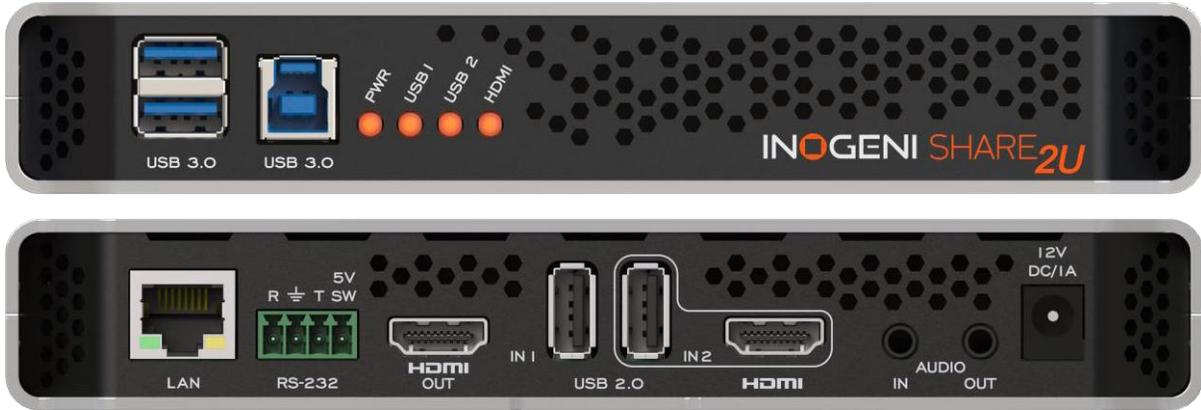
Windows、macOS、Linuxと互換性があり、UVC準拠のため、DirectShow / V4L2 / AVFoundation対応のすべてのソフトウェアで動作します。

本製品は、USBおよびHDMI入力で最大1080p（30fps）に対応しています。

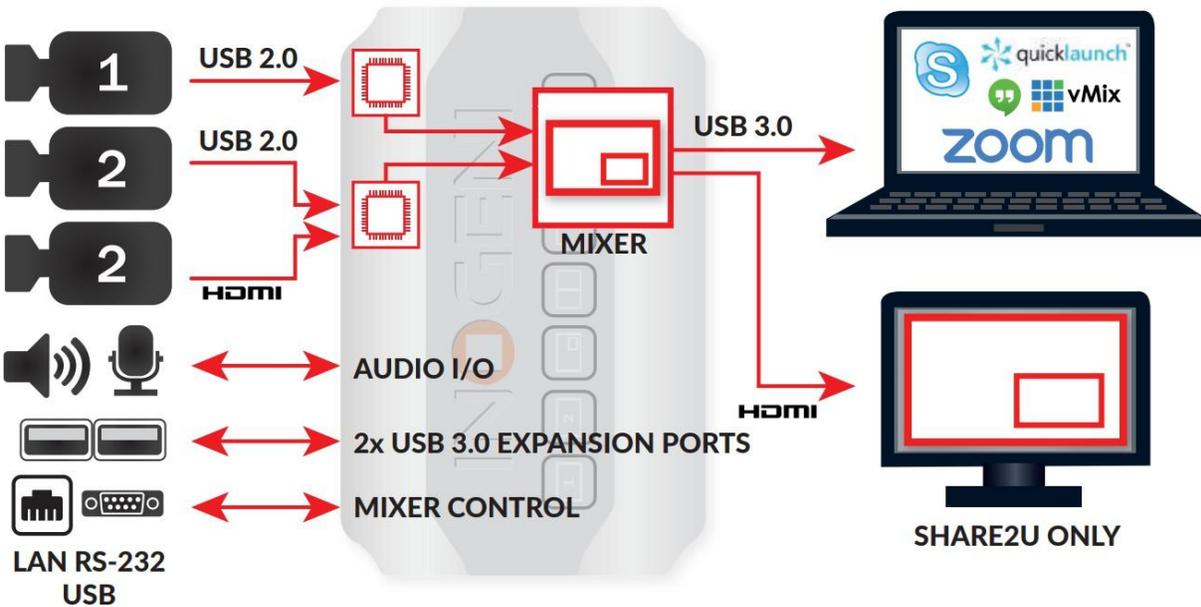
ラインレベルのステレオアナログオーディオ入出力は、2チャンネルLPCMをサポートします。

SHARE2Uには、USB 3.0ケーブルおよび電源アダプターが付属しています。

# デバイス接続



# 接続ダイアグラム



## 仕様

Video Input 1	
USBコネクター	USB2.0 Type-A x1
USBビデオ解像度	カメラの仕様による *1
Video Input 2	
USBコネクター	USB2.0 Type-A x1
USBビデオ解像度	カメラの仕様による *1
HDMIコネクター	HDMI x1
HDMIビデオ解像度	1080p
HDMIフレームレート	最大60Hz
エクспанションポート	USB3.0 Type-A x2 *2
アナログ音声入力	ラインレベル、ステレオ3.5mmジャック
アナログ音声出力	ラインレベル、ステレオ3.5mmジャック
HDCPコピープロテクト	非対応: 本製品はBD/DVDなどの暗号化されたソースを復号化しません
コントロールインターフェース	ユーザーボタン RS-232 LAN USB
Output	
USBコネクター	USB3.0 Type-B x1 USBとHDMIでは同じビデオコンテンツを出力
HDMIコネクター	HDMI x1 USBとHDMIでは同じビデオコンテンツを出力
カラースペース	YCbCr (YUY2) 4:2:2 8ビット。
ビデオスケーラー	自動
色空間変換	自動
サンプリング変換	自動
フレームレート変換	自動
Audio	
Audio input	2-channel LPCM 48kHz アナログラインレベル、HDMIオーディオ
Audio output	2-channel LPCM 48kHz アナログラインレベル

互換性	
OS	Windows7 以上 (32/64-bit) macOS 10.10 以上 Linux (kernel v2.6.38 以上) Android ドライバーインストール不要
ホストPC要件	USB 3.0ポート 最低4GB RAM Intel Core i5 オンスクリーンレンダリング向けに専用メモリを搭載したグラフィックカード
対応USBチップ セットメーカー	Intel、Renesas、ASMedia、Fresco Logic
対応カメラ	USB入力用UVC対応カメラ *1 最大1080p30のHDMIソース
ソフトウェアの互換性	UVC準拠 DirectShow、V4L2、QuickTime、AVFoundationと互換性のあるすべてのソフトウェアで動作
寸法 [幅×長さ×高さ、cm]	18.5 x 11 x 3
重量 [g]	540
電源	12V, 700mA (アダプター同梱)
製造国	Canada

\*1 対応カメラ、対応解像度についてはINOGENI Webページを参照してください。

[Webページリンク](#)

\*2 拡張用途として、複数のUSBデバイスを接続できます。本ポートに接続した周辺機器は、SHARE2Uのミックス機能を介さず、直接PCへ送信されます。

## ユーザーボタン

これらのボタンはINOGENI Control Appソフトウェアに表示されているものと同じ機能を持ちます。



入力1をフルスクリーンにします。



入力 2 をフルスクリーンにします。  
両方のソースが存在する場合、USB2とHDMIを切り替えるには、ボタンを2回目にクリックします。



Picture in Picture  
このボタンを押すたびに、各コーナーの小窓の位置が変わります。



Side by Side  
2つの画像を横並びに表示します。



Big and Small  
2つの画像を大小にわけて表示します。



入力1と入力2を入れ替えます。  
キーパッドをロック/アンロックするには、このボタンを5秒間長押しします。



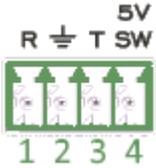
Star Button  
任意の機能を割り当てることができます。割り当てには、INOGENI Control Appを使用します。

# シリアル通信プロトコル

シリアル通信の設定は以下の通りです：

Baud rate: 9600  
 Data bits: 8  
 Stop bits: 1  
 Parity: None  
 Flow control: None

RS232ポートのPin配列は以下の通りです：



Pin 1: Receive Data  
 Pin 2: GND  
 Pin 3: Transmit Data  
 Pin 4: 5V電源 (INOGENI Remoteで使用)

## コマンド：

コマンドが認識された場合、ACK 文字列が送信されます。  
 コマンドが認識されない場合、NACK 文字列が送信されます。  
 シリアル・インターフェースに送られるコマンドは、< > で囲む必要があります。

## コマンド表：

コマンド	コマンド概要
<S1>	Source 1: 入力ソース IN1を選択
<S2>	Source 2: 入力ソース IN2を選択
<SS>	Side by Side 表示
<TB>	Top Bottom 表示
<BS>	Big and Small 表示
<PPTR>	Picture in Picture (サブウィンドウ右上)表示
<PPTL>	Picture in Picture (サブウィンドウ左上)表示
<PPBR>	Picture in Picture (サブウィンドウ右下)表示
<PPBL>	Picture in Picture (サブウィンドウ左下)表示
<SW>	入力1と入力2の入れ替え
<SS1>	Side by Side (入力1が左側)表示
<SS2>	Side by Side (入力2が左側)表示
<TB1>	Top Bottom View (入力1が上側)表示
<TB2>	Top Bottom View (入力2が上側)表示
<BS1>	Big and Small (入力1が左側)表示
<BS2>	Big and Small (入力2が左側)表示
<PPTR1>	Picture in Picture (入力1がメインウィンドウ、サブウィンドウ右上)表示
<PPTR2>	Picture in Picture (入力2がメインウィンドウ、サブウィンドウ右上)表示
<PPTL1>	Picture in Picture (入力1がメインウィンドウ、サブウィンドウ左上)表示
<PPTL2>	Picture in Picture (入力2がメインウィンドウ、サブウィンドウ左上)表示
<PPBR1>	Picture in Picture (入力1がメインウィンドウ、サブウィンドウ右下)表示
<PPBR2>	Picture in Picture (入力2がメインウィンドウ、サブウィンドウ右下)表示
<PPBL1>	Picture in Picture (入力1がメインウィンドウ、サブウィンドウ左下)表示
<PPBL2>	Picture in Picture (入力2がメインウィンドウ、サブウィンドウ左下)表示

<SAVE>	現在のオンボード設定のセーブ
<RSTR>	現在のオンボード設定の消去
<BLK>	ブラックビデオの出力
<SHW>	ビデオ表示
<RST>	デバイスのリセット
<SWUSB>	IN2の入力ソースとしてUSBを選択
<SWHDMI>	IN2の入力ソースとしてHDMIを選択
<POLL>	<p>デバイスの現在の状態を返答します。PPTL1モードが有効な場合、以下のように表示されます：</p> <pre>&gt;&gt; &lt;POLL&gt; VIEW =&gt; S1 BLACK =&gt; disabled ACK</pre>
<GET>	<p>ファームウェアバージョンやデバイスの情報、現在の設定を返答します</p> <pre>&gt;&gt; &lt;GET&gt; StreamerApp =&gt; 1.10.5 DeviceID =&gt; 0 FX3 =&gt; N/A FPGA =&gt; N/A EDID =&gt; 1 KEYPAD =&gt; 0.0 Input 1 =&gt; Unlocked Input 2 =&gt; Unlocked Input 3 =&gt; 1280x720 Audio Jack =&gt; Not Detected VIEW =&gt; S1 BLACK =&gt; disabled IP =&gt; 192.168.0.84 MAC =&gt; f8:dc:7a:4a:4c:35 AIN1 =&gt; 0 AIN2 =&gt; 0 AIN3 =&gt; 0 AIN4 =&gt; 0 AOUT1 =&gt; 0 AOUT2 =&gt; 0 AOUT3 =&gt; 0 AOUT4 =&gt; 0 ACFG =&gt; 0 INV1 =&gt; 0 INV2 =&gt; 0 INV3 =&gt; 0 INV4 =&gt; 0 MUTEIN =&gt; 0 SBTN =&gt; 0 ACK</pre>

<INV X Y>	ビデオソースを反転します X= 1, → USB1 = 2, → USB2 = 3, → HDMI Y= 0, → no flip = 1, → vertical flip = 2, → horizontal flip
<AIN1 X>	USB1のオーディオ入力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます
<AIN2 X>	USB2のオーディオ入力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます
<AIN3 X>	HDMIのオーディオ入力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます
<AIN4 X>	アナログのオーディオ入力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます
<AOUT1 X>	アナログのオーディオ出力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます
<AOUT2 X>	USB1のオーディオ出力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます
<AOUT3 X>	USB2のオーディオ出力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます
<AOUT4 X>	HDMIのオーディオ出力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます

<AOUTHDMI X>	HDMIのオーディオ出力を選択します X = 255 → USB IN1 + USB IN2 + Analog Line IN (Mix) X = 0 → USB3.0 Type-B (ホストPCからの音声)
<AOUTANALOG X>	アナログのオーディオ出力を選択します X = 255 → USB IN1 + USB IN2 + Analog Line IN (Mix) X = 0 → USB3.0 Type-B (ホストPCからの音声)
<AOUTUSB1 X>	USB1のオーディオ出力を選択します X = 255 → USB IN1 + USB IN2 + Analog Line IN (Mix) X = 0 → USB3.0 Type-B (ホストPCからの音声)
<AOUTUSB2 X>	USB2のオーディオ出力を選択します X = 255 → USB IN1 + USB IN2 + Analog Line IN (Mix) X = 0 → USB3.0 Type-B (ホストPCからの音声)
<OUTPUT X>	HDMIの出力解像度を設定します X = timing index TIMING_AUTO_EDID = 0 TIMING_1080P60 = 1 TIMING_1080P50 = 2 TIMING_720P60 = 3 TIMING_720P50 = 4 TIMING_1080P30 = 5
<IP W X Y Z>	IPアドレス=W.X.Y.ZでのIPアドレスを設定します
<NETMASK W X Y Z>	サブネットマスク=W.X.Y.Zでのサブネットマスクを設定します
<GATEWAY W X Y Z>	ゲートウェイアドレス=W.X.Y.Zでゲートウェイアドレスを設定します

以下のコマンドは、特定のカメラで動作します。

現在対応しているカメラは以下の通りです

- Logitech® Rally, MeetUp and PTZ Pro.
- AVer® CAM520 cameras.

<PAN X Y>	PTZ カメラを水平方向に移動します X = 1, → USB1 = 2, → USB2 Y = -1, → counterclockwise = 0, → stop = 1, → clockwise
<TILT X Y>	PTZ カメラを垂直方向に移動します X = 1, →USB1 = 2, →USB2 Y = 1, →camera goes up = 0, →stop =-1, →camera goes down
<ZOOM X Y>	カメラズームを設定します X = 1, →USB1 = 2, →USB2 Y = 100 ~ 500
<PRESET X Y>	PTZカメラに保存されたプリセット位置に移動するよう指示します X = 1, →USB1 = 2, →USB2 Y = 1, 2, 3, →preset 1, 2, 3
<SAVEPRESET X Y>	現在位置をカメラのプリセットメモリに保存します X = 1, →USB1 = 2, →USB2 Y = 1, 2, 3, →preset 1, 2, 3

# INOGENI REMOTE



SHARE2UとINOGENI REMOTEの接続はRS232で行う必要があります。INOGENI REMOTEの接続端子はRJ45、SHARE2Uの接続端子はターミナルブロックです。下記のピン配列を参考に接続してください。

また接続前にSHARE2Uの底面にあるDIPスイッチのSW6をONに設定してください。詳細は本書の「DIPスイッチ」の項を参照してください。

 SHARE2UおよびCAMシリーズと使用する場合RS232端子に接続する必要があります。

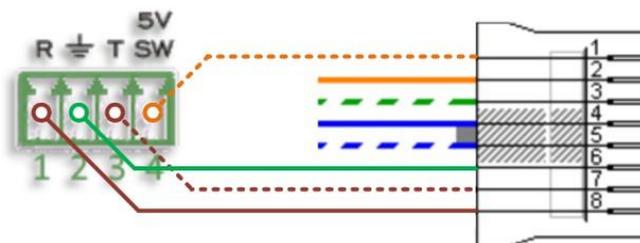


#### Terminal block:

Pin 1: 受信  
Pin 2: GND  
Pin 3: 送信  
Pin 4: 5V電源

#### RJ45:

Pin 1: 5V電源  
Pin 2,3,4,5: NC  
Pin 6: GND  
Pin 7: RX  
Pin 8: TX



## LANインターフェース

デバイスのデフォルトIPアドレスは以下の通りです。

# 192.168.0.81/24

IPアドレスを変更するには、INOGEN Control App を使用してください。本デバイスはDHCPに対応していません。また、デバイスとTCP通信を行うには、任意のtelnetアプリケーションを使用できます。その際、ポート番号は50000を指定してください。



コマンドは、HTTPまたはTCPリクエストを送信することで実行できます。  
コマンドが認識された場合、ACK文字列が送信されます。  
コマンドが認識されない場合、NACK文字列が送信されます。

LANインターフェースに送られるコマンドは、 '\$\$' で囲む必要があります。

コマンド	コマンド概要
\$\$S1\$	Source 1: 入力ソース IN1を選択
\$\$S2\$	Source 2: 入力ソース IN2を選択
\$\$\$	Side by Side 表示
\$TB\$	Top Bottom 表示
\$BS\$	Big and Small 表示
\$PPTR\$	Picture in Picture (サブウィンドウ右上)表示
\$PPTL\$	Picture in Picture (サブウィンドウ左上)表示
\$PPBR\$	Picture in Picture (サブウィンドウ右下)表示
\$PPBL\$	Picture in Picture (サブウィンドウ左下)表示
\$SW\$	入力1と入力2の入れ替え
\$\$\$1\$	Side by Side (入力1が左側)表示
\$\$\$2\$	Side by Side (入力2が左側)表示
\$TB1\$	Top Bottom View (入力1が上側)表示
\$TB2\$	Top Bottom View (入力2が上側)表示
\$BS1\$	Big and Small (入力1が左側)表示
\$BS2\$	Big and Small (入力2が左側)表示
\$PPTR1\$	Picture in Picture (入力1がメインウィンドウ、サブウィンドウ右上)表示
\$PPTR2\$	Picture in Picture (入力2がメインウィンドウ、サブウィンドウ右上)表示
\$PPTL1\$	Picture in Picture (入力1がメインウィンドウ、サブウィンドウ左上)表示
\$PPTL2\$	Picture in Picture (入力2がメインウィンドウ、サブウィンドウ左上)表示

\$PPBR1\$	Picture in Picture (入力1がメインウィンドウ、サブウィンドウ右下)表示
\$PPBR2\$	Picture in Picture (入力2がメインウィンドウ、サブウィンドウ右下)表示
\$PPBL1\$	Picture in Picture (入力1がメインウィンドウ、サブウィンドウ左下)表示
\$PPBL2\$	Picture in Picture (入力2がメインウィンドウ、サブウィンドウ左下)表示
\$SAVE\$	現在のオンボード設定のセーブ
\$RSTR\$	現在のオンボード設定の消去
\$BLK\$	ブラックビデオの出力
\$SHW\$	ビデオ表示
\$RST\$	デバイスのリセット
\$SWUSB\$	IN2の入力ソースとしてUSBを選択
\$SWHDMI\$	IN2の入力ソースとしてHDMIを選択
\$POLL\$	デバイスの現在の状態を返答します。PPTL1モードが有効な場合、以下のよう に表示されます： S1 BLACK => disabled ACK
\$GET\$	ファームウェアバージョンやデバイスの情報、現在の設定を返答します StreamerApp => 1.4.1 DeviceID => 0 FX3 => N/A FPGA => N/A EDID => N/A Input 1 => 1920x1080 MJPEG Input 2 => Unlocked Input 3 => Unlocked VIEW => S1 BLACK => disabled IP => 192.168.0.29 MAC => f8:dc:7a:5:76:8 ACK
\$INV_X_Y\$	ビデオソースを反転します X= 1, → USB1 = 2, → USB2 = 3, → HDMI Y= 0, → no flip = 1, → vertical flip = 2, → horizontal flip
\$AIN1_X\$	USB1のオーディオ入力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます
\$AIN2_X\$	USB2のオーディオ入力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます
\$AIN3_X\$	HDMIのオーディオ入力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます
\$AIN4_X\$	アナログのオーディオ入力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます

\$AOUT1_X\$	アナログのオーディオ出力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます
\$AOUT2_X\$	USB1のオーディオ出力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます
\$AOUT3_X\$	USB2のオーディオ出力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます
\$AOUT4_X\$	HDMIのオーディオ出力レベルを調整します X = 0 ~ 6 → 0 ~ 6 dB の範囲で音量を選択されます X = 166 ~ 255 → -90 dB ~ -1 dB の範囲で選択されます
\$AOUTHDMI_X\$	HDMIのオーディオ出力を選択します X = 255 → USB IN1 + USB IN2 + Analog Line IN (Mix) X = 0 → USB3.0 Type-B (ホストPCからの音声)
\$AOUTANALOG_X\$	アナログのオーディオ出力を選択します X = 255 → USB IN1 + USB IN2 + Analog Line IN (Mix) X = 0 → USB3.0 Type-B (ホストPCからの音声)
\$AOUTUSB1_X\$	USB1のオーディオ出力を選択します X = 255 → USB IN1 + USB IN2 + Analog Line IN (Mix) X = 0 → USB3.0 Type-B (ホストPCからの音声)
\$AOUTUSB2_X\$	USB2のオーディオ出力を選択します X = 255 → USB IN1 + USB IN2 + Analog Line IN (Mix) X = 0 → USB3.0 Type-B (ホストPCからの音声)
\$OUTPUT_X\$	HDMIの出力解像度を設定します X = timing index TIMING_AUTO_EDID = 0 TIMING_1080P60 = 1 TIMING_1080P50 = 2 TIMING_720P60 = 3 TIMING_720P50 = 4 TIMING_1080P30 = 5
\$IP_W_X_Y_Z\$	IPアドレス=W.X.Y.ZでのIPアドレスを設定します
\$NETMASK_W_X_Y_Z\$	サブネットマスク=W.X.Y.Zでのサブネットマスクを設定します
\$GATEWAY_W_X_Y_Z\$	ゲートウェイアドレス=W.X.Y.Zでゲートウェイアドレスを設定します

以下のコマンドは、特定のカメラで動作します。  
 現在対応しているカメラは以下の通りです

- Logitech® Rally, MeetUp and PTZ Pro.
- AVer® CAM520 cameras.

<b>\$PAN_X_Y\$</b>	PTZ カメラを水平方向に移動します X = 1, → USB1 = 2, → USB2 Y = -1, → counterclockwise = 0, → stop = 1, → clockwise
<b>\$TILT_X_Y\$</b>	PTZ カメラを垂直方向に移動します X = 1, →USB1 = 2, →USB2 Y = 1, →camera goes up = 0, →stop =-1, →camera goes down
<b>\$ZOOM_X_Y\$</b>	カメラズームを設定します X = 1, →USB1 = 2, →USB2 Y = 100 ~ 500
<b>\$PRESET_X_Y\$</b>	PTZカメラに保存されたプリセット位置に移動するよう指示します X = 1, →USB1 = 2, →USB2 Y = 1, 2, 3, →preset 1, 2, 3
<b>\$SAVEPRESET_X_Y\$</b>	現在位置をカメラのプリセットメモリに保存します X = 1, →USB1 = 2, →USB2 Y = 1, 2, 3, →preset 1, 2, 3

## DIPスイッチ

デバイスの底面には6つのDIPスイッチがあります。  
 各DIPスイッチの機能は以下の通りです。  
 DIPスイッチ切り替えた後は、SHARE2Uを再起動してください。

<b>SW1</b>	<b>OFF</b>	USBの出力解像度を1080pに固定します(デフォルト)
	<b>ON</b>	USBの出力解像度を選択可能にします
<b>SW2</b>		将来対応用
<b>SW3</b>	<b>OFF</b>	リフレッシュレートを60Hzに設定します(デフォルト)
	<b>ON</b>	リフレッシュレートを50Hzに設定します
<b>SW4</b>		将来対応用
<b>SW5</b>		将来対応用
<b>SW6</b>	<b>OFF</b>	RS232端子の5V出力を無効します(デフォルト)
	<b>ON</b>	RS232端子の5V出力を有効にします INOGENI REMOTEを使用するには、このスイッチを有効化する必要があります

# INOGENI Control App

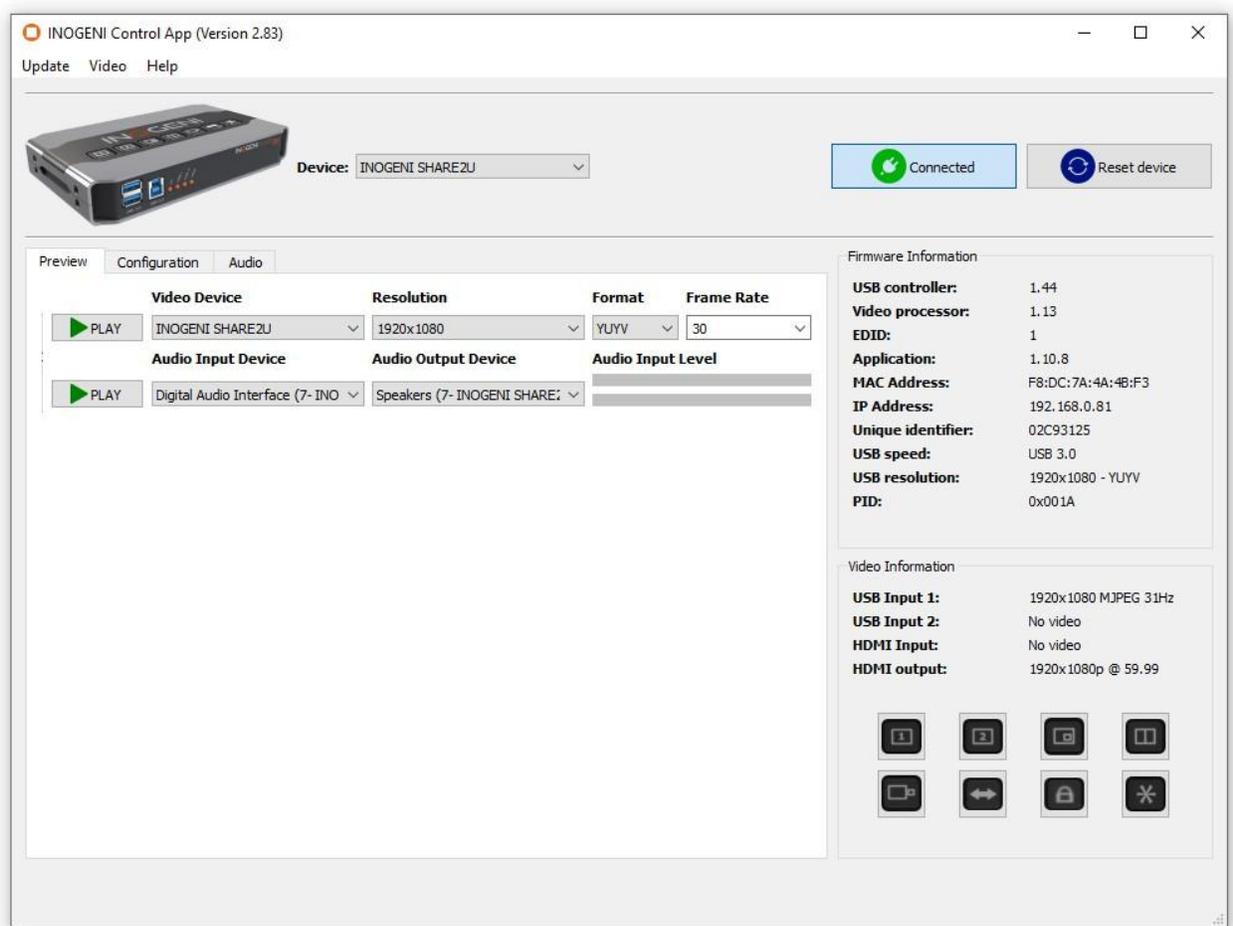
INOGENI Control Appは、USBケーブルを使用してデバイスの設定やホストPCへのビデオ出力のプレビューを行うことができるソフトウェアです。INOGENIウェブサイトの[SOFTWARE TOOLS](#)からダウンロードが可能です。

SHARE2Uでは、「Preview」、「Configuration」、「Audio」の項目があります。

## Preview

Previewでは、デバイスの情報や各ビデオ入力ソースの解像度を確認することができます。また、ビデオ出力の解像度設定やプレビューを確認することも可能です。プレビューを確認するには、INOGENIデバイスを選択後、PLAYボタンをクリックします。

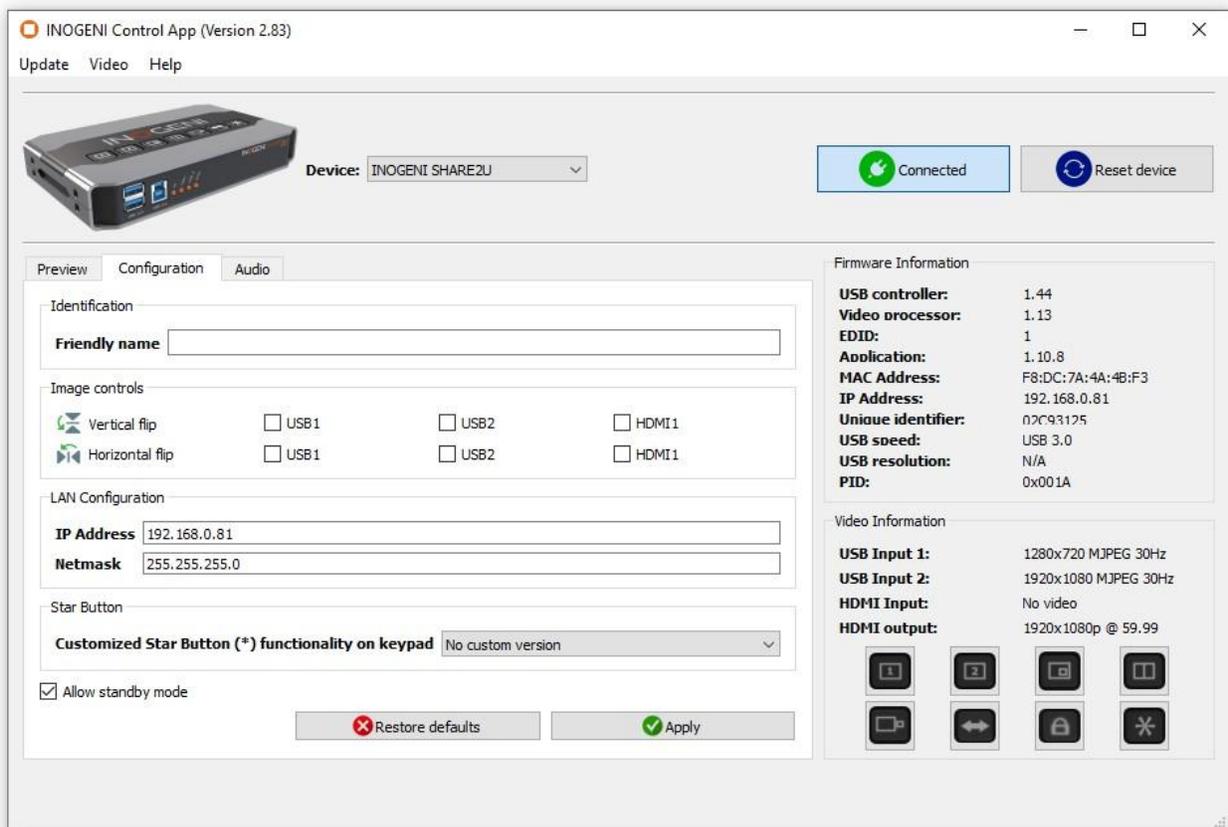
デバイスに新しいアップデートがある場合、アップデートボタンが表示されます。そのボタンをクリックすると、デバイスはOTA（Over-the-Air）を通じて自動的に最新のファームウェアをダウンロードし、アップデートされます。



# Configuration

Configurationでは、以下のような設定を行うことができます。

<b>Identification</b>	デバイス名を設定できます。この名前はホストPCに表示されます。Windowsの場合名前を設定後、デバイスマネージャー内のINOGENIデバイスを削除する必要があります。その後、デバイスをPCに接続すると、新しい名前が反映されます。
<b>Image Controls</b>	各ビデオ入力の垂直および水平映像反転が可能です。
<b>LAN Configuration</b>	デバイスのIPアドレスとサブネットマスクを設定できます。
<b>Star Button</b>	この設定により、キーパッドのStar Buttonに任意の機能を持たせることができます。
<b>Allow standby mode</b>	INOGENIデバイスが使用されていない場合、カメラからのビデオキャプチャを無効にします。 デバイスのHDMI出力が有効な場合、この設定は適用されません。



「Apply」ボタンをクリックすると、設定が保存され、再起動後も維持されます。設定を初期状態に戻すには、「Restore defaults」ボタンをクリックしてください。

# Audio

このデバイスにはオーディオミキサーが内蔵されており、各のI/Oのミュートやゲイン調整が可能です。

## Audio Input Selection

Audio Input Selectionには、以下の2つのモードがあります。

### Automatic audio selection

このモードでは、アナログ入力が優先されます。

アナログ入力がない場合は、USB 2.0入力が選択されます。

HDMI入力のオーディオは、常にUSB 2.0またはアナログ入力とミックスされます。

### Mix audio

このモードでは、USB 2.0、アナログ入力およびHDMI入力のオーディオがすべてミックスされます。

## Host USB Audio

- Enable USB Audio output : ホストPCにスピーカーのオーディオデバイスとして認識させます。
- Enable USB Audio input : ホストPCにマイクのオーディオデバイスとして認識させます。

「Apply」ボタンをクリックすると、設定が保存され、再起動後も維持されます。設定を初期状態に戻すには、「Restore defaults」ボタンをクリックしてください。

INOGENI Control App (Version 2.83)

Update Video Help

Device: INOGENI SHARE2U

Connected Reset device

Preview Configuration Audio

Input Gain

Input	Mute	Gain
USB1	<input type="checkbox"/>	0 dB
USB2	<input type="checkbox"/>	0 dB
HDMI	<input type="checkbox"/>	0 dB
Line-In	<input type="checkbox"/>	0 dB

Audio Input

Microphone (HD Pro Webcam C920)

Level L R

Output Gain

Output	Source	Mute	Gain
Line-Out	PC-speaker (USB)	<input type="checkbox"/>	0 dB
USB1	PC-speaker (USB)	<input type="checkbox"/>	0 dB
USB2	PC-speaker (USB)	<input type="checkbox"/>	0 dB
HDMI out	PC-speaker (USB)	<input type="checkbox"/>	0 dB

Audio Input Selection

Automatic audio selection  Mix audio

Host USB Audio

Enable USB audio c  Enable USB audio i

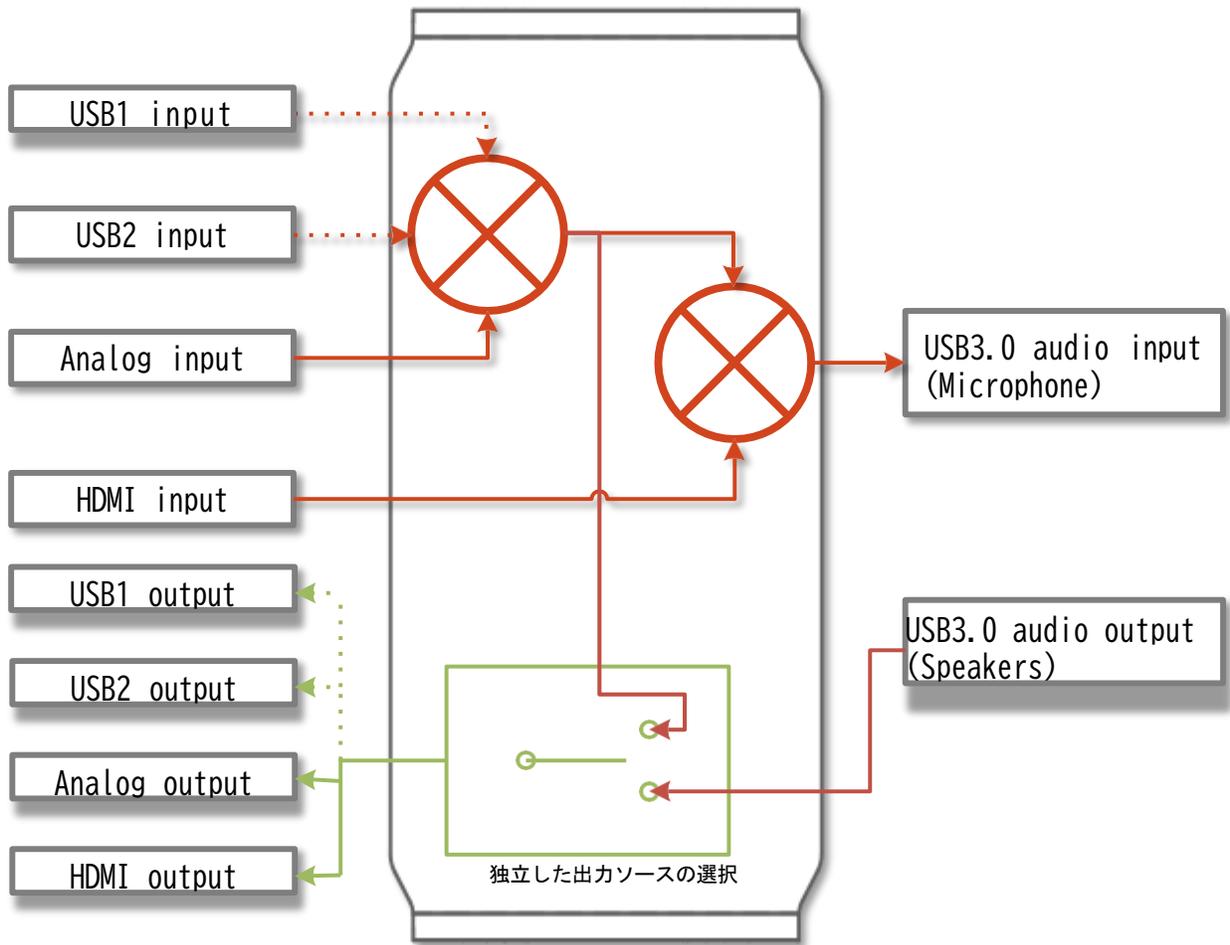
Restore defaults Apply

Firmware Information

USB controller:	1.44
Video processor:	1.13
EDID:	1
Application:	1.10.8
MAC Address:	F8:DC:7A:4A:4B:F3
IP Address:	192.168.0.81
Unique identifier:	02C93125
USB speed:	USB 3.0
USB resolution:	N/A
PID:	0x001A

Video Information

USB Input 1:	1920x1080 MJPEG 30Hz
USB Input 2:	No video
HDMI Input:	No video
HDMI output:	1920x1080p @ 59.99



- ..... USBデバイスがオーディオ入力をサポートしている場合に使用可能
- ..... USBデバイスがオーディオ出力をサポートしている場合に使用可能

## サポートについて

本マニュアルの内容を参考に、適切に設定を行い、デバイスの機能を最大限に活用してください。また、INOGENIウェブページには「Knowledge Base」を用意しており、製品に関する詳細情報やトラブルシューティングガイドを提供しています。

<https://inogeni.atlassian.net/servicedesk/customer/portals>

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは株式会社オーディオブレインズまでご連絡ください。お問合せ受付時間は、土日祝日、弊社休業日を除く10:00~18:00です。

**AUDIO**  **BRAINS**

〒216-0033 神奈川県川崎市宮前区宮崎649-3

TEL : 044-888-6761

<https://audiobrains.com/>